



よしだつうしん

吉田通心

第133号

【2025年10月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆秋田の老舗居酒屋「からす森」で思ったこと◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第133号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、仕事で秋田に1人で行ってきました。今回は2泊3日。普段、私は1人で出張のとき、夜に飲食店に入ることは、ほぼありません。知らない土地の知らないお店に入る勇気がなく、だいたいどこかで焼き鳥とビールを買って、ホテルの自室で飲んでいます。

ただ、今回は秋田駅近くでとても気になるお店を発見。それは、テレビ番組『吉田類の酒場放浪記』に出てくるような、とっても雰囲気の良い赤提灯のお店。煮込みと焼き鳥が名物の老舗居酒屋「からす森」というお店です。

木金土の2泊3日。木曜にそのお店を見つけると、なかなか勇気がなく入店できず、ただ、どうしても気になり、金曜の夜7時に勇気を出して行ってみました。ところが、私が行った時間帯は満席で入店できませんでした。仕方がない、別を探そうとその場を離れたところ、すぐ近くを通ったおばちゃん3人組からこんな会話が。「今日からす森、席空いてるかなあ」と。私は「やっぱり人気店なんだ！」と思い、時間を空けてから、もう一度行ってみることにしました。

20分ほど周辺を巡り、7時20分頃に再び行ってみると、運良くカウンター席が1席だけ空いており、無事に入ることができました。店内は中央にコの字型のカウンターがあり、両サイドに小さなテーブル席があるのですが、もう満席です。本当に雰囲気の良いお店で、私はモツの煮込みと焼き鳥3本、ビールを注文。これがまた美味しく、最高のお店でした。

今回、勇気を出して入ることができたのは、ネットに出ていた評判や店内の写真をいくつも見る

ことができたからです。それが私の背中を押してくれました。



私たち仏壇・墓石屋さんも、初めて来る方はきっと不安だと思います。その不安を少しでも解消できるように、店内の雰囲気が分かるような写真をアップしたり、ネットにも力を入れていく必要があるなあと、そんなことを思いました。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、季節はもうすっかり秋になりました。つまり、私の夏の楽しみである枝豆の季節が終了したということです。今年の夏も美味しくいただきました。そして、外ではビールですが、家で枝豆を食べるときは、なるべくビールではなく、プリン体ゼロの焼酎を夏でもお湯割りで飲んでいました。おかげで、今年の夏も痛風にならずに済みました。これからも、健康体でいきたいと思います。吉田竹史

■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸＆ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史